

今の自分にプレゼントするとしたら、「おめでとう」。

この学校に認めてもらえたんだって。

入試問題が配られた時になんかもう、すごくワクワクしてきちゃって。

新しい問題だって特別感をもってやりました。

仲間はライバルであり、ライバルは仲間。

意見を出し合うと、またそれで新たな意見が生まれた。

ケンカすることもよくあったけど、根本的には仲が良くて。

つくりだす

未来



※日能研卒業生たちの入試後のインタビューより

中学受験って、何が見えるか分からない、先が見えない道。

自分の人生を自分で決めたい。葛藤しながらも自分を作り上げていく。

人を笑顔にする人になりたい。

今やることをやるんだ、っていう思いを持ち続ける大人になりたい。

くじけそうになった時に励ましてくれた家族。

家族によってくじけそうになったこともあったりして(笑)。

僕が泣くよりも母が泣いていました。

僕の入試だったし家族の入試でもあったんだなって思いました。



中学受験は、“私”が歩く道。
自分だけの宝物を見つける道。
道の先にあるのは、“私”が描く未来。

中学受験という特別な体験の中で、子どもたちは何を思う？ 何を得る？

上の詩は、中学入試を終えたばかりの日能研生へ行ったインタビューで聞くことができた一人ひとりの言葉を一つにつむいだものです。

合格への喜びとともに湧き出る言葉——想い、意志。これらすべては、中学受験という特別な体験の中で子どもたちが手にした宝物。一人ひとりに備わった“チカラ”。

日能研が考える中学受験とは、鏡の迷路の中を歩くようなものかもしれません。鏡に映る自分と向き合い、問いかける。自分は何がしたい？ 今、何を？ 「理科が苦手な自分。どんなところが苦手？ ではどうする？」——こんなふうにも問自答しながら、一歩ずつ歩みを進めていく。そして最後の扉の前に、立つ。その時、鏡に映って

いる自分は、これまでの歩みの中で得た宝物をたくさん持っているはず。

「そうか、自分はコツコツ努力することで、苦手を好きに変えることができるんだ」。

“未知なる未来”へつながる扉の先で、どんなチャレンジが向かってくるかはわからない。でも、それがどんな道だとしても、手にした宝物は消えることはありません。なぜならそれは、誰かに与えられたゴールに向かって歩くだけでは得られない、私自身が育てた、私だけの“チカラ”なのだから。

合格という結果とともに、そこに至るプロセスを大切に、これからの“私”の礎となる“チカラ”を身にまとう。——そして未来へ。

中学受験を通して、あなただけの宝物を、両手いっぱい手にしてほしい。それが、日能研の想いです。

全国規模の中学受験専門塾〈日能研〉から私学へ

4月新学期スタート! 準備はここから

随時開催

日能研

新小4 新小5 新小6

入会資格テスト

参加無料

実施日・実施時間帯は教室によって異なります。詳細は受験ご希望の教室までお問い合わせください。日能研に通うには、4～6年生は入会資格を得る必要があります。入会資格を得るためには、このテストを受験してください。

春期講習

新小3 新小4 新小5 新小6

日能研各校で開催!

◆教室により設置されるコースや期間・時間帯が異なります。詳細は公式ウェブサイトでご確認ください。

〈入会資格テスト〉〈春期講習〉のお申し込みは、お近くの日能研までお電話ください。

お近くの日能研のご案内は

日能研 検索

www.nichinoken.co.jp

または 0120-666-242

入会資格テストの詳細はこちら

